

各務原市の PFOS/PFOA に関する専門家会議（第3回）【議事概要】

- 1 日時：令和7年7月25日（金） 9：40～11：30
- 2 場所：県庁20階 2003会議室
- 3 委員：4名中4名出席
神谷 浩二 岐阜大学工学部社会基盤工学科教授（座長）
村野 宏達 名城大学農学部生物環境科学科教授
小島 悠揮 岐阜大学工学部社会基盤工学科准教授
廣岡佳弥子 岐阜大学環境社会共生体研究センター准教授
- 4 事務局：岐阜県環境エネルギー生活部長、環境エネルギー生活部次長
各務原市市民生活部長、環境室長兼環境政策課長
- 5 議事：各務原市における PFOS/PFOA の環境調査等に係る経緯
令和6年度井戸水等の継続モニタリングの結果について
令和7年度井戸水等の継続モニタリングについて
PFAS 使用・保管実績のアンケート・ヒアリング調査結果について

<委員からの意見>

（令和6年度井戸水等の継続モニタリングの結果について）

○井戸水の検査結果について、豊水期と渇水期で差があまり見られないということでしょうか。

→豊水期と渇水期の影響はあまり見られなかった。

○暫定目標値を超えてはいないが高い値の場合、飲用井戸の利用者への対応はどうしているか。飲用井戸の利用者に対する注意喚起は引き続き続けていくことが重要である。

→井戸水の検査結果は所有者へ通知しており、飲用の注意を呼び掛けている。所有者の判断で、水道への切り替えや浄水器の設置を行った例がある。

○地下水調査結果の図については、航空自衛隊岐阜基地の那加官有地における井戸の数値を記載するなど、わかりやすく修正したうえで公表されたい。

○河川等調査結果の図については、水路のつながり方が正確にわかるよう修正いただきたい。

○河川等で新たに暫定目標値を超過した地点について、一過性のものか、引き続き注視が必要である。

(令和7年度井戸水等の継続モニタリングについて)

○航空自衛隊岐阜基地内の井戸について、市民に対して情報共有するために、自主的な調査が行われた場合には、調査結果を提供いただくよう、引き続き働きかけてほしい。

○新たなモニタリング地点(案)とした井戸については、検査結果が暫定目標値以下であるが値が高いため、今後、注視することが適当である。

○井戸水の調査は、候補となっているモニタリング地点の2地点を追加し、今年度45地点で実施することにより、河川等の調査は昨年同様16地点で実施することにより。

(PFAS使用・保管実績のアンケート・ヒアリング調査結果について)

○航空自衛隊岐阜基地について、平成22年以降は泡消火剤の使用はないのか。

→火災や訓練での使用はなく、また、点検で泡消火剤を使用した際は全量を回収していたと聞いている。

○ガソリンスタンドにおいて、現在、PFOS/PFOAを含有する泡消火剤の保管があることが把握できたが、アンケート調査の回答で網羅できているか。

→あくまで任意の調査であり、調査範囲において全てのガソリンスタンドの状況を把握できているとは言いきれない状況と考えている。保管自体は適法であり、環境省の調査において、現在もPFOS/PFOAを含有する泡消火剤の保管が全国的に確認されている。

○引き続きモニタリングを通してPFOS/PFOA濃度の推移を確認し、地元の関係者にも協力を得ながら市全体としての状況を把握して、地域の水環境を保全していくことが必要だと考える。